

令和4年度 松田町地域座談会<中丸地区>意見交換の要旨

日 時：令和4年7月3日(火) 午前10時00分から11時45分

場 所：中丸地域集会施設

出席者：中丸自治会 15名

町 長： 本山町長、鈴木参事兼政策推進課長兼定住少子化担当室長、鎌田安全防災担当室専任主幹、政策推進課（鍵和田、渡邊）

意見交換の記録（●…意見、⇒…回答） ★は町からの提案、方針

●足柄上病院について2号館の建替が始まるとのことだが新松田駅からの歩道などの整備についても町から県に要望してほしい。

⇒（町長）

病院建替については県が進めていることであるが交通量の増加等にあわせた整備についても県に要望している。引き続き歩道の整備やアンダーパスの拡幅などについて関係機関に要望していく。

●駅へ向かう道では朝の時間に右折禁止となるが守らない人もいる。看板の位置や色などでもっとわかりやすく右折禁止を周知すべき。

⇒（町長）

看板設置については位置や大きさによって他との干渉などもあるためバランスをみながら検討していきたい。

●駅北口の駅前広場から出て左折する箇所は見通しが悪く歩行者が見えづらい。カーブミラーなど設置してほしい。

●跨線橋の下でいつも水漏れがあり車が避けて通るため対向車線にはみ出し危険。水漏れだけでなく崩落なども心配だが JR にはいくら要望しても返事がない。町からも強力に JR に要望してほしい。

⇒（町長）

担当課も把握しており JR とやりとりしているが詳細は今ここでは申し上げられない。大がかりな工事でなくても出来る対処方法はあると思うので要望していきたい。

●文久橋からの道は朝9時まで右折禁止であり、その先でいつも警察が取り締まりをしている。違反を待つのでなく右折の手前で指導するなど町から警察に要望してほしい。

⇒（町長）

右折禁止にすることで渋滞や混雑を助長している面もある。地元の方からの問題意識が高いと一言を伝えていきたい。

【資料「地域座談会（中丸自治会） テーマ・意見」について】

●No14 防災倉庫の維持管理、備品等について予算の増額や新しい発電機の配布をお願いしたい。

⇒（鎌田専任主幹）

発電機については自治会によって求められる機能や性能も違い、例えば携帯の充電ができればということであればポータブル発電という選択肢もある。自治会でどのような機能を求めているのかによって相談いただければ応じたい。従来の発電機について一概に撤去するのではなく町としては点検して使える状態を維持していく。また、防災倉庫については自治会での点検、清掃をぜひお願いしたい。

●No15 防災リーダーの研修などを行ったがその後のネットワーク化などはどうなっているのか。No21の地区防災計画にも関連する。

⇒（鎌田専任主幹）

防災について、阪神淡路大震災後に地域の「自助」が重視される傾向が強まったが、現在は倒壊した家屋からの救助はプロに任せ、地域住民はそうした箇所をしかるべき部署に連絡すること、救助が必要な人に寄り添い側に居てあげることが重要。地区防災計画も難しいものとは考えず、まずは助けが必要な人を地図に落とし、避難所までの経路を確認するなど、できることから初めて欲しい。初めから完成版ではなく、表紙だけでもよい、ひとつひとつ決めていきページが増えていくようにしていけばよい。

●川音川の上流では流木が多く、増水したとき橋脚に被害がでかねない。河川は県の管轄だが、小田急などにも改善を要望してほしい。

⇒（町長）

川音川の整備については毎年県に要望しており少しずつ進めている。引き続き要望していきたい。

●No16 防災キャンプの提案についてはいかがか。

⇒（鎌田専任主幹）

提案として検討していきたい。

●No17 防災訓練に関して、大井町では毎月15日は防災を呼びかける日を設定している。松田町でも意識付けの取組を進めてはどうか。

⇒（鎌田専任主幹）

防災無線機器の点検を兼ねて月に1度無線でやりとりを行っている。さらに防災の意識付けとなるよう、防災訓練などと併せて呼びかけを進めたい。

●中丸児童公園の地中にある防火槽について、数年前に桜の根っこが防火槽を包み込んでいるため木を切るがよいかと確認され許可したが、その後何の進展もない。担当も変わった。以前は訓練の時に濾過器でその水を飲むなどもしていた。今どうなっているのか。

⇒（鎌田専任主幹）

防火槽については使用しないことになり、自治会としても管理していない。濾過器も古くなり利用できない。災害時は中学校の設備から給水を受けることになっている。

⇒（町長）

町として状況を確認して改めて会長に報告する。

●No20、22、23 避難所での食料確保の目安についてはどう考えればよいか。

⇒（鎌田専任主幹）

町としては一律ではなく、各自治会によって必要とされるものや量はそれぞれ違うと考える。各自治会の想定に応じて必要な支援を行っていきたい。

●水や食料だけでなく、トイレの問題についてはどう考えているのか。

⇒（鎌田専任主幹）

町では簡易トイレを準備して、指定避難所を中心に配置する。皆さんのなかには自宅避難を考えている方も多いと思うが水や電気が止まったらどうなるか。実際にどんな物が必要になるか、自宅が避難所となったことを想定して備えてほしい。

★中丸児童公園の桜について

⇒（町長）

桜の木が成長して密になっている。毛虫も多く子どもが遊具で遊べないとの意見もある。1本置きに間引きをするなど検討し、しっかりと管理していきたい。

★防災に関して

⇒（町長）

自治会で備える際は「何のために備えるのか」を意識した準備をしてほしい。9月4日の防災訓練ではぜひ各自の必要なものを準備して参加いただき、そこでお互いに話し合ったり使い方を教え合ったりする場にしたい。また先ほどの防災無線のやりとりに加え、広報で定期的に防災について周知するなど工夫したい。

閉会

地域座談会（中丸自治会） テーマ・意見

No	内容	所管課	回答
1	【カラスの繁殖防止・駆除について】 春になるとカラスが電柱や小田急線等の線路上の鉄柱に営巣・繁殖し、カラスの数が増えて、ゴミあさり等の被害が多くなっています。鳥獣保護法の兼ね合いもありますが、行政の方から東京電力や小田急に巣の撤去を速やかに行うようお願いをしていただきたい。	観光経済課 環境上下水道課	カラスの巣が電線や鉄柱等に作られている場合は、情報を共有させていただき、町からも各事業者等へ対応の依頼を行います。
2	【ゴミ集積所のカラス被害対策】 ゴミの集積所のカラス被害は、ネット掛けだけでは手間・場所を考えても無理な状況です。困いのある中に見えるごみ入れの設置の推進をお願いしたい。	環境上下水道課	・現在、収集ボックスやその他の物品については、他の地域で不要となり町に返還されたもの等があれば、お渡ししている状況です。ない場合は、申し訳ありませんが、各自治会でご用意をお願いしております。 ・カラスの被害が減少するよう、環境美化推進委員の会議等で他市町村の対応事例等の紹介などを行ってまいります。 ※集積所の物品の中で、ほうき、ちりとり、カラス除けネット及び看板は町が購入し、設置しております。
3	【子育て世代が住みやすいと感じてもらうのが優先】 子供目線でもよまず、子育て世代が住みやすいと感じてもらうのが先ではないでしょうか。	政策推進課 定住少子化担当室 子育て健康課	【政策推進課】 ・子どもたちから直接意見を拝聴する「まつだ子どもカフェ」は6月に開催しましたが、今後、子育て世代にもまちづくりへの意見等を伺う機会を設けてまいります。 ※「チルドレンファースト」は、子どもが成長しても松田町に住み続けたい、あるいは進学や就職で町外に出たとしても、子育て世代になったら故郷へ戻ってきたいと思ってもらえるまちづくりのこトです。そのようなまちづくりを行うことで、高齢者が子や孫たちとともに生活することができ、災害時や普段の生活においてもお互いの安心、幸福の向上につながると考えています。 【定住少子化担当室】 ・子育て世代の意見は大変貴重であると考えており、子育て世代向けの住宅を建設するなどの施策を展開する一方、移住希望者が子育て世代である場合、各所属が連携し、情報を提供する等の対応しており、今後も継続して情報発信に努めてまいります。 ・転入転出者に向けた窓口アンケートも実施しており、子育て世帯のみならず、幅広い意見をいただいておりますので、今後のまちづくりの参考のため、結果を庁内で共有し、施策の展開に一助としています。 【子育て健康課】 ・子育て世代の住みやすさとして考えられることは、保育の充実、育児などの相談先が充実していることだと考えます。 ・保育所については、今年度は1～2歳児の利用者が多く7月より小規模保育所を再開しました。 ・今年度から第2子の保育料が無償となり、保護者の負担は軽減されております。 ・寄地区、松田地区にそれぞれ学童保育室を設置し、小学生の放課後の保育を実施しています。 ・現在は保育所、学童保育室共に待機児童はおりません。子育ての相談先は、役場内子育て相談室（のびのび）のほか、子育て支援センターがあります。こちらでは、親子が来所し、他の親子とのふれあいや心配事の相談など様々な内容でご利用いただいております。このように小さな町だからできる事、一人一人に寄り添えるような関係づくりを目指しております。

地域座談会（中丸自治会） テーマ・意見

No	内容	所管課	回答
4	【窓口の対応について】 対応窓口によっては、カウンター前にも気付かないか、気付くのが遅いです。他の役所と比べても流れが悪く感じる時があります。	総務課	ご不便をおかけし申し訳ございません。今後も引き続き、職員へ接遇向上に関する意識共有を行い改善を図ってまいります。また、併せて、庁舎内の整理整頓を徹底し、ご来庁いただいた方々が不快に感じることが無いよう取り組んでまいります。
5	【役場の駐車場対策について】 役場の駐車場が一杯で困っていると、相変らずハローワークに来ている人が駐車しています。ハローワークに別駐車場を用意してもらえないでしょうか。	総務課	ハローワークには兼ねてから利用者に駐車場がない旨を伝えているところです。引き続き、町からハローワークへ松田町営臨時駐車場など近隣駐車場を利用するよう促し、併せて駐車場がない旨の新たな看板を追加するなど指導してまいります。
6	【新型コロナウイルスワクチン集団接種会場について】 新型コロナウイルスワクチン予防接種について、行政の早期対応は大変感謝しています。町内でも個人病院だけの対応でなく、集団接種会場を設けていただきたい。（高齢者が大井町・山北町行きは不便です。）	子育て健康課	<ul style="list-style-type: none"> ・町内医療機関で実施していない日曜日や夕方の時間帯をカバーするため、近隣の町と協力し、集団接種会場を設置しています。 ・集団接種会場は遠方でありご苦勞をおかけしますが、65歳以上の方で移動手段がない方は、会場までタクシーの助成（利用者負担なし）を行っておりますので、子育て健康課までご連絡ください。周知不足となり申し訳ありません。 <p>※当町のワクチン接種は、4か所の個別医療機関にご協力をいただき、早期接種に取り組んでおります。当町では町内の医療機関での接種が充実しており、順調に進めることができしております。</p> <p>※各町で集団接種を実施することは、上医師会に多大なご負担をおかけすることにもなり、なるべく近隣で調整していただきたいと上医師会からの依頼もあります。大変ご不便をおかけいたしますが、町内医療機関または大井町や山北町の集団会場をご利用いただきたくご理解をお願いいたします。</p>
7	【老朽化・倒壊しそうな空家対策】 老朽化して倒壊しそうな空家に対して安心・安全確保のため、どのような取り組みをされていますか。	安全防災担当室 定住少子化担当室	<p>【安全防災担当室・定住少子化担当室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災上、近所など他の家に被害が出そうな場合、家屋の持ち主に対して適切に管理を行うように通知等にて注意喚起を行っています。それでも進まない場合、松田町特定空家等審査会を開催し、事後の処置を進めます。
8	<p>【空家の老朽化予防対策】 管理の悪い空家で植木等が道路に出ているのをたまに見かけますが、どのような老朽化予防の取り組みをされていますか。</p> <p>【管理されていない家の対応について】 庭木などの管理がされないで道路にはみ出し迷惑をしている家があり、いずれ老朽化になる恐れもあります。行政から指導をお願いできませんか。</p>	定住少子化担当室 関係課	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡があった際は、関係部署と連携し、現地確認や所有者への適正管理の通知の発出等を行い、所有者へ適切な管理をお願いしています。 ・固定資産納税通知書に「空家にしないための対策」を記載したチラシを同封するなど、所有者への働きかけも行ってあります。
9	【空家活用推進・移住者優待制度について】 コロナ禍によりモトワークが定着しつつあり、松田町も自然が多く、都心にも近く魅力的な町と思います。空家バンク以外に活用のために移住優待制度は考えておられますか。（リフォーム補助、家賃補助、取得費補助など）	定住少子化担当室	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、移住相談の連絡は以前に比べ増えており、空家バンクの紹介はもとより、住宅取得促進奨励金等や民間賃貸住宅家賃補助の制度を移住に関する制度として紹介し、補助金の交付を行っています。 ・今年度より賑わいの醸成を目指し、学生への入居支援にも取り組んでおります。 ・移住の際のリフォームについては、現在、助成は行っておりません。
10	【町道5号線沿い側溝】 以前の座談会の要望で常時適量の水を流していただくようになったと聞いています。衛生面、美的、土砂堆積の低減など効果が出ていますので、継続してお願いします。	まちづくり課	<ul style="list-style-type: none"> ・ご要望の水路については、水が常時流れています。 ・台風などの豪雨時には水害を防ぐために、小田急線ガード下付近のゴミ置き場横で板を用いて、水を止めることがありますが、水量の確認を行い、常時開放を継続してまいります。

地域座談会（中丸自治会） テーマ・意見

No	内容	所管課	回答
11	【延命寺沢側溝】 松田山から沢伝いに流れてくる土砂の堆積量が多いため、毎年度、土砂上げの恒久的な予算化をお願いします。	まちづくり課	ご要望の沢については、通常2年に1回の土砂撤去としておりますが、堆積量の状況により水害などの恐れがある場合には予算の範囲内で対応します。
12	【コミュニティ活動交付金制限枠の拡大】 各種愛好会を設立して、コミュニティ活動交付金を活用したコミュニティ活動を計画しています。カーレットなど、好きな時に自由にプレイできるように用具の購入を考えていますが高額です。特例として、コミュニティ活動交付金の制限枠の拡大を検討していただきたい。	総務課	<p>・多くの自治会においてコミュニティ活動に関する様々な工夫を講じていただいておりますが、平等性を踏まえ、今回のご意見のように特定の自治会に対して特例的に交付金を支給することは、現行の制度では対応できかねます。ただし、当該交付金の全体予算の範囲内においての対応は可能なことから、今後、他自治会を含めた形で検討いたします。</p> <p>・今後、町事業の中で、会場使用料の減免やスポーツ用具の貸し出しなど、提案等ができることがありましたら、ご案内させていただきます。</p> <p>※松田町地域コミュニティ活動交付金については、加入世帯数を基に、予算額から各自治会における交付上限額を設定しております。</p> <p>本年度、交付決定額／申請額とする交付率は、全体平均で47.3%であり、加入世帯数の規模に比べ申請額が少ない自治会では最大100%が交付され、逆に規模が小さいながらも申請額が大きい自治会では23.1%が最低の交付率となっています。なお、中丸自治会においては、交付率は73.7%と比較的高い状況です。</p>
13	【中丸地域集会施設の壁塗工事について】 平成29年に中丸地域集会施設の壁塗装要望書を提出した時に他集会所の耐震工事が優先され、当時の約束では来年度実施予定になっています。よろしくをお願いします。	総務課	<p>・令和2年に策定した「松田町公共施設個別施設計画」において、他の施設の状況を確認した上で、中丸地域集会施設については、令和10年度に長寿命化の改修工事を予定しております。</p> <p>・現地を確認させていただき、必要があれば改修工事を前倒しするなど予算化に向けて調整してまいります。なお、修繕については、自治会の方々にも工事費によっては、一部負担していただくこととなりますのでよろしくをお願いいたします。</p> <p>※町からの補助金 工事費3万円までの分 負担額100% 3万円を超え20万円まで 負担額50% 20万円を超える分 負担額75%</p>
14	【防災倉庫の維持管理について】 防災防犯費用として年5万円(2倉庫分) が町から支給され、購入品は自治会に任されています。しかし、現防災倉庫内の備品は古くて使えるものが多い。時代に対応した備品に買換えが必要です。代替推奨品など行政と情報共有して各自治体の標準化を図つたらいいでしょうか。また防災用品は高価のため支給額が少ないです。少ない分現物支給もお願いしたい。	安全防災担当室	<p>・防災防犯費やコミュニティ助成金の利用の仕方は、自治会の計画内です。他の自治会では、防災品を優先的に確保し、イベント開催などの不足する費用は自己負担をしています。</p> <p>・なお、倉庫内の清掃・維持管理、物品買い替えは、自主防災会で計画的にお願いしているところです。物品や内容に関する推奨・相談は随時行っています。</p>

地域座談会（中丸自治会） テーマ・意見

No	内容	所管課	回答
15	<p>【自主防災体制の強化・防災リーダー再育成・ネットワーク化】</p> <p>平成28年に行政主催の自主防災会長・防災リーダー研修が約半年間あり、全講習を受講し修了書もいただきました。そのあと個人的に知識の習得や資格を取得した方もいました。行政から防災リーダーのネットワークを作られることを期待しましたが、行政側の異動もあり、折角養成された防災リーダーもばらばらになってしまいました。</p> <p>近隣で防災リーダーのネットワーク化している町もあると聞いています。松田町も防災リーダーのネットワークを作成されてはいかがでしょうか。</p>	安全防災担当室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27～28年にかけて防災リーダー等を対象に研修会を実施しましたが、その後、町として統制せず、現在に至っています。 ・防災リーダーが中心となって地区防災計画等を作成できるような、新しい防災リーダー教育を検討します。
16	<p>【「防災・キャンプ松田」開催提案】</p> <p>若い世代・親子世代に防災に関心を持ってもらうために、親水公園、西平畑公園、寄自然休養村、などでキャンプと防災をテーマにしたイベントを提案します。</p> <p>防災食事や非常トイレコンテスト、テントの張りかた、火のおこし方など災害時に役立ちます。また、最近のアウトドア用品の進歩も防災備品の参考になります。</p>	安全防災担当室	<ul style="list-style-type: none"> ・ご提案いただいたようなイベントができるよう内容を検討させていただくとともに自治会でも実施していただきたいと思います。
17	<p>【防災訓練の実施見直し】</p> <p>防災訓練の実施は年に一度では不足と思います。</p> <p>（参考に、知人の高知の人は月一度やっています。大井町は毎月15日に手紙で呼びかけをしています。）</p>	安全防災担当室	<ul style="list-style-type: none"> ・町全体で行う防災訓練は年1回とし、自主防災会が行う防災訓練については、回数や日時などは特に限定していません。各自治会において積極的に実施していただきたいと考えておりますが、各自主防災会のご都合もあるかと思しますので、必要な支援等がありましたらご相談ください。
18	<p>【町内民家の井戸、湧き水の災害時活用について】</p> <p>本件については、5,6年前に河内児童館の町長懇談会の時に質問したところ、約70ヶ所あると後で回答をいただきましたが、その後の進展はいかがですか。</p>	安全防災担当室 環境上下水道課	<ul style="list-style-type: none"> ・確認できる井戸の数は35ヶ所（平成29年調査）で、飲料水として使用できる井戸は、8ヶ所です。 ・町は井戸水を生活用水として利用し、飲料水としては、昨年に松田小学校の耐震用貯水槽が完成し、松田中学校グラウンド、町役場駐車場の貯水槽と併せて合計110 t（1日1人あたり飲料水3ℓを基準として、全人口1万500人に対し約3.5日分の飲料水を補給）の飲料水確保を図っています。
19	<p>【災害時の時の避難場所の拡大と核シェルター化について】</p> <p>松田町には確か広域避難場所は三カ所だと思いますが、今後直下型大地震や紛争に巻き込まれることが想定されますが、今の三カ所では到底足りません。外国では核シェルターのような避難場所が進んでいます。松田町として避難場所として確保することは考えられていますか。</p>	安全防災担当室	<ul style="list-style-type: none"> ・町の広域避難場所は、計画では9ヶ所指定（うち1ヶ所工事中）されており、収容人数は15,410人（工事終了後は17,903人）となり足りる状況となっています。 ・核シェルターについては、町で考える問題ではないと認識していますので、待機場所として確保することを想定しておりません。

地域座談会（中丸自治会） テーマ・意見

No	内容	所管課	回答
20	<p>【災害用備蓄食料の賞味期限後の処分について】</p> <p>災害時の食料は少なくとも3日～4日分は各家庭でローリングストックなどで備蓄をお願いしていますが、家が倒壊などで食糧が取り出せない方、又は準備できていない方のために自治会である程度備蓄しておかねばなりません。賞味期限がありますので、町では賞味期限直前にどのような処分をしていますか。</p>	安全防災担当室	<p>・備蓄食料購入の際、賞味期限がなるべく平準化するように購入し、対象の食料が重ならないように注意してまいります。</p> <p>※賞味期限が近い非常用食糧は、コロナ自宅療養者や各種団体への寄付、訓練時に使用するなど、廃棄に至らないように利活用しております。</p>
21	<p>【地区防災計画作成について】</p> <p>現在の自主防災計画は古くて再計画をしたいが、当自治体ではメンバー・スキル不足で実現が困難な状況です。参考に他の自治会の進捗はどうでしょうか。</p>	安全防災担当室	<p>・現在、26自治会のうち4自治会が完成しています。</p> <p>・地区防災計画は、令和2年10月に自治会に作成を依頼し、同年12月に案・定型を示しています。ご不明な点があれば、ご相談ください。</p>
22	<p>【災害用備蓄食料の自治会としての適性在庫】</p> <p>災害用食料の自治会としての適量在庫はどのくらいと考えておられますか。</p>	安全防災担当室	<p>集会所を避難所として運用する場合の適量在庫は、収容人数により異なりますが、1人3日分の備蓄が目安とされています。</p>
23	<p>【災害用備蓄食料の町からの支給について】</p> <p>災害時の非常食運搬ルートが途絶えたときのために町から自治会に2年ぐらい前に災害用備蓄食料の現物支給があったと聞いています。今後も定期的に配付されるのでしょうか。防災食は高価のためお願いしたいです。。</p>	安全防災担当室	<p>・自治会には原則配布しません。</p> <p>・町民の方に1日3食分（推奨1週間分）の家庭備蓄をお願いしています。町の食糧備蓄は、避難者に対して3カ所の避難所の倉庫に集中備蓄し、災害時は避難所を食料配布所として運用します。</p>

令和4年度 松田町地域座談会<城山地区>意見交換の要旨

日 時：令和4年7月3日(火) 午後2時00分から4時00分

場 所：城山地域集会施設

出席者：城山自治会 12名

町 長：本山町長、高橋参事兼まちづくり課長、鈴木参事兼政策推進課長兼定住少子化担当室長、
政策推進課（鍵和田、渡邊）

意見交換の記録（●…意見、⇒…回答） ★は町からの提案、方針

●最明寺から高松山へ向かう道で途中崩れた箇所がありケガした人がいた。危険なため町の観光経済課に苦情を申し入れたが、返事は3ヶ月後でどうすればよいかと逆に質問された。通行止めにしたり迂回路を示すなど対応すべき。

⇒（町長）

確認する。

●健康づくり普及員を各地区1名出すことになっているがなり手がいない。仕方なく引き受けたが果たして26地区から出す必要はあるのか。地区によっては自治会長が兼任するなどしている。

⇒（町長）

健康づくり普及員の問題というより「なり手不足」が課題。自治会長や他の委員についても同様の課題である。

●先ほどの山へ向かう道の件、コヤワタオフィスとの協定を活かしてドローンを飛ばして確認してはどうか。どのような協定になっているのか。

⇒（町長）

ドローンを幅広い分野で活用し地域の活性化につながることを目的としており、農業や防災時の災害状況の確認や救助などに活用するほか、子ども向けに操縦教室を開催するなどしている。

●自治会長のなり手不足は全国的な問題。自治会の区分けは何十年も変わっていない。時代は変化しておりそろそろ区分け自体をもっと大きくするなど見直すべきではないか。

⇒（町長）

区分けについてはここ何年もの懸案事項。自治会にはそれぞれ歴史がある。自治会のことに対して行政は基本的に立ち入らないスタンスであり、自治会側から困っていることがあれば助ける。自治会によっては複数地区合同のイベントを行っているところもあるが、例えば寄地区の一番小さな自治会を他と合体できるかというとなかなか難しい。存続が難しいなど困っているのであれば町から提案することもできるが、基本は各自治会の受け止め方による。

- ちいさな自治会同士が一緒になれば楽なることもあると思う。自治会側からも行政側からも双方の働きかけで何年もかかるだろうが変えていくべき。

⇒（町長）

今後への期待を込めたプラスの提案として受け止めたい。居住者は多くてもなり手がいない地区もある。自治会の役目を容認できるかも地区による。行事のやり方も、例えばどんど焼きは1月14日だが土日にくずらして行う地区もある。

- 私の夢だが、河川敷のどこかに「道の駅」のような施設がほしい。つりやパラグライダーなどで松田町を訪れる人も増えているが女性は特にトイレの問題が大事。きちんとした施設でそこが情報の発信基地になればよい。

⇒（町長）

松田町と山北町で堤防の道路の整備を進めている。整備が進み車や人が増えれば当然トイレ等の施設も必要になってくる。

⇒（高橋参事）

上流の方、現在車止めがあるところから先は歩行者と自転車の専用道だが、山北高校のあたりは復員4～5メートル程度を想定している。直線のため車の速度を抑止するため橋のところでは幅員をとらず譲り合うようにする。建物についても検討していく。

- 駅前トイレについて、月に1回掃除を行っているが、水道が1箇所しかなく使いにくい。外にも水道を設けて欲しい。お休み処は飲食禁止だが中には食事をする人もいる。ここ半年掃除をしているのでだんだんと綺麗になってきた。きれいな施設を維持していくために掃除は重要。そのためにも水道設置をお願いしたい。（要望）

- ごみの問題について。自治会加入者にはごみの捨て方なども周知されているが、集合住宅では4月の転居時期にごみの捨て方が乱れる。転入者などには町からも周知しているのか。

⇒（町長）

住民票を異動される方は町役場で手続きをされる時にガイドブックと一緒にごみの捨て方についても案内している。集合住宅の場合、敷地内に集積場がある所も近隣の集積場に出す所もあるが、そこまで周知しているかは確認する。また、自治会未加入者の中にはルールを守らない方もいる。最近ウィークリーやマンスリーの賃貸などもあり、町から働きかけをしても残念ながら受け入れてもらえない場合もある。そうした人には町として徹底して対応するので、なにかあれば町に連絡していただきたい。

- シニアクラブで映画上映担当をしている者としての要望。町のホールで子ども向けの映画上映があった。かなり多くの方が参加したようだが今後も継続して行うのか。

⇒（町長）

町としては、生涯学習のイベントとしてカラオケ大会と映画上映を毎月交互に行う予定をして

いる。次回は7月30日に開催する。上映内容についても広く町民から募集してもよいと思う。また、家庭のホームシアターを仲間と一緒に楽しむ場としてホールの貸出をするなども行っていきたい。

- ごみの問題について、ごみ捨てるルールを徹底とのことだが町役場の仕事に加えては手が回らないのでは。すべてを役場の責任として抱え込まず、自治会を支援しつつ任せてはいいかがか。

⇒（町長）

ごみ捨て場に出されたごみを仕分けしてくれる人もいる。善意の行動だが年齢のこともあり続けていくのは難しいという。そういうところは行政として甘えすぎではいけないと思う。

- ごみの問題は以前からの課題。アパートのごみが増えてボックスを増やしてもらったり、道路脇の投げ捨てごみなどもある。自治会としても呼びかけているが、どうしてもできないことは町にお願いしたい。

- 自治会としてもやり、できないことは町にお願いするのはよい。最初からすべて町のやることとしてしまうべきではない。

- 今日は清掃の日だったが32世帯中26世帯が参加しみんなできれいにすることができた。道路のポイ捨てなどもそうだがルールを守らない人もいる。まちをきれいにするためには、花を植えるよりごみをなくすことが大事。

⇒（町長）

ルールを守らない人というのは、ずっと住んでいる方のことではなく短期の居住者が多いのではないか。そうした短期居住の方の意識をどう変えるかが問題。車からのポイ捨てについてはまた別の問題であり、町としてどうしていくか考えていきたい。

- そこは「自治会にぜひ任せます」と言うべき。

⇒（町長）

行政は最後の砦であると思う。町と自治会はどちらが上とか下とかではなく同等であり、役割分担をしながらよりよりまちづくりを進めていきたい。

- 自治会として機能すべきことがある。城山地区では昔から子ども会や祭りなどをみんなでやってきた。そうした役割が防災やごみ対策などでも機能してくるのではないか。

⇒（町長）

城山地区はソフトボールなども子どもから高齢者までみんなで参加している。他地区ではここまでいかない。新しい人も入ってくるが、その人を周りがしっかりとフォローしているところも素晴らしい。こうした好事例を他の自治会にも伝えていきたい。

●防災について、リーダーとして頑張っている人が最近やる気をなくしている。しかし、いつ来かわからない災害に備えることが大切で、細々でもよいから続けて欲しいと声を掛けた。自治会のみなさんも気を掛けてほしい。また、ドローンの導入はぜひ進めて欲しい。日頃は遊びなどで使いながら、いざという時に活用できればと思う。

⇒（町長）

ドローンについて町で1台保有しているほか、協定先のコヤワタオフィスには企業用ドローンもある。操縦の講習なども行っており、自治会でも手を挙げてくれるところにはぜひ活用してもらいたい。

●ドローンについて、災害対策に限定せず空撮など自由度を持たせてほしい。

●町保有のドローンの使用目的は何か。

⇒（町長）

主に観光用に活用している。イベントや観光地を空撮し動画を挙げている。

★防災について

⇒（町長）

防災についての意識向上について、各自で避難準備を行ってもらいつつ、足りないものは自治会で備えることとなるが、自治会側では管理や備品の更新などの手間も必要となる。自治会によって求められる備品も違う。このため、「災害時はどういう状況で何が必要になるか」を意識して準備してもらおうよう、広報などを考えている。9月4日の防災訓練でも確認したい。また、毎月11日に行っている防災無線の動作確認は自治会長さんにご存じだと思うが、他の人たちも防災を意識する日としていくなどしていきたい。

●先ほどの河川敷の施設設置についてももう少し詳しく教えて欲しい。

⇒（高橋参事）

堤防から河川側には建物を作れない。川の流れを変えてしまう恐れがあるため法律で規制されている。このため、堤防から陸側の民有地にトイレ等の施設を検討する。

★山北町方面への道路整備について

⇒（高橋参事）

今後、道路の整備計画について近隣の住民に向けた説明会を実施したい。開催については改めて連絡する。

閉会